

第238回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

(令和2年5月)

株式会社 岩手朝日テレビ

第 238 回岩手朝日テレビ
放送番組審議会（書面による審議）

1. 新型コロナウイルス感染防止から、レポート提出により番組審議会を実施。委員全員から課題番組に対するレポートを提出いただき、意見を集約し議事録を作成。

2. 委員の出欠（レポートの提出）

委員総数 8名

出席委員数 8名

委員 長	村 田 久
委 員	小 松 豊
委 員	石 川 健 正
委 員	そのだ つくし
委 員	高 橋 惣 兵 衛
委 員	佐 藤 年 男
委 員	樋 口 知 志
委 員	佐 竹 雅 之

会社側出席者名

代表取締役社長	畠 山 大
取締役報道制作局長	小 原 洋
ディレクター	矢 野 一

事務局長	三 浦 茂 樹
事務局	波 岡 功

3. 合評課題：三陸鉄道応援特別番組

～163キロ鉄道の旅 キット地域とともに～

4. 概要

昨年の台風19号で被災し、この3月に全線開通した三陸鉄道。久慈駅から盛駅までの163キロを、フリーアナウンサーの塩地美澄さんが初めて乗車し、途中下車をしながら地元の人と触れ合いや、三陸の海の幸など伝える内容。

- ・旅番組としての面白さに加えて震災復興について考えさせられる内容だった
- ・三陸鉄道の旅が楽しそうで、鉄道の旅の味わい方も十分に伝わり、視聴者目線の番組になっていた
- ・今回の番組の視聴ターゲットは県内・県外どちらに制作したのか疑問だった
- ・163キロの三陸の長旅駆け足は止む得なしとして、もう少し地元住民の声を拾って欲しかった
- ・単なる食レポ番組ではなく、二度の災害を三鉄や住民の方々がどうやってこの危機を乗り越えたかを視聴者に向けてプレーバックする要素がともなっていなければならない